

第1章 カリキュラムの基本的な考え方

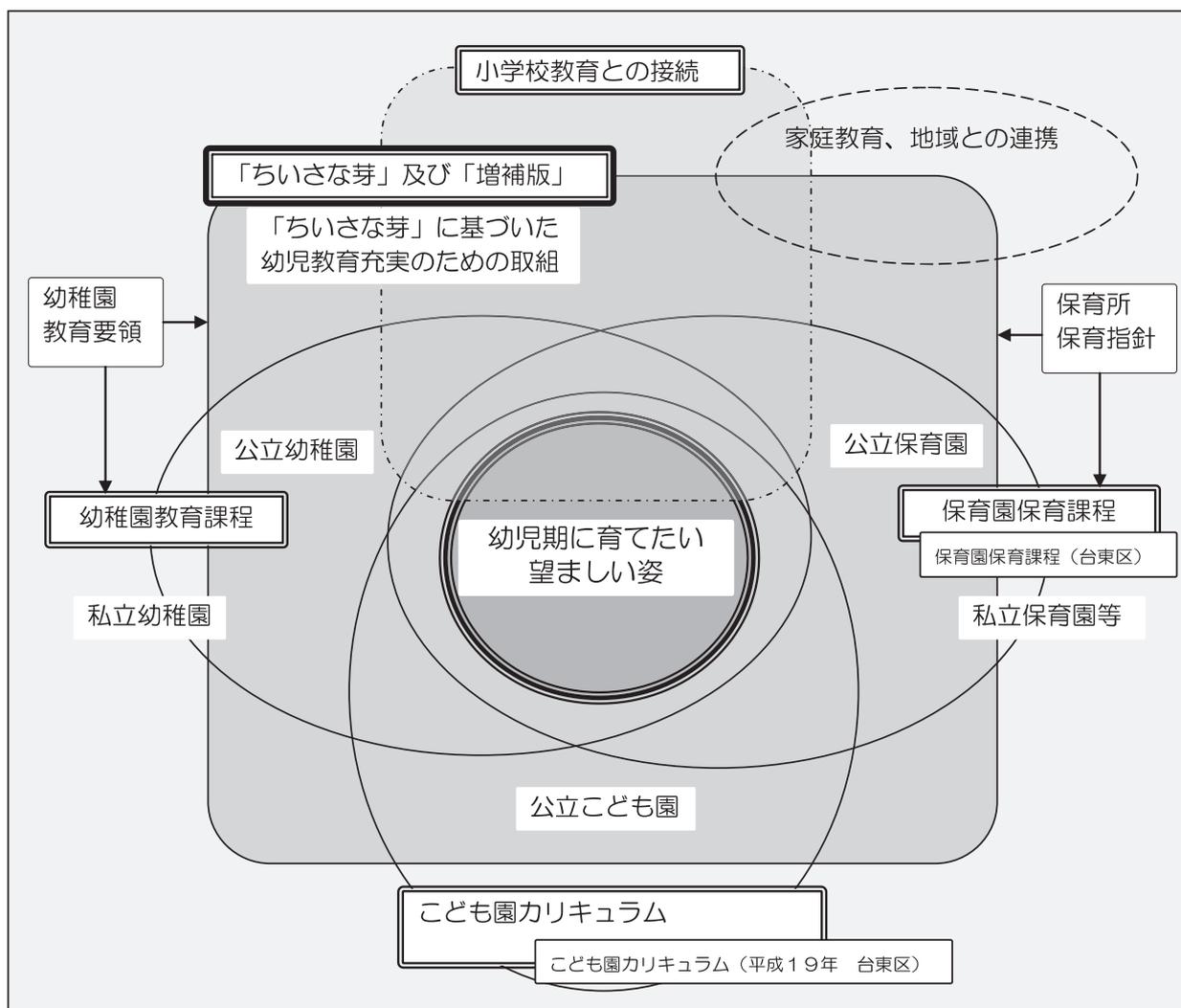


1 カリキュラムを活用した保育・教育課程の編成

幼稚園・保育園・こども園では保育所保育指針及び幼稚園教育要領を基に、保育課程や教育課程を編成しています。それに基づき、具体的な指導計画を作成して実践し、評価を行い、次の計画に反映させて改善を図っています。「ちいさな芽」は、小学校教育との接続を踏まえ、子供に生きる力の基礎を培うために、発達や学びの連続性を考慮しながら3歳児から5歳の発達に応じて小学校入学までに育てたい力を示したもので、台東区の各幼稚園・保育園・こども園が保育課程や教育課程を編成するときの参考となり、基準となるものです。区立の幼稚園・保育園・こども園においては、小学校教育との円滑な接続を図ることと、「生きる力」の基礎の育成や発達や学びの連続性などの視点から、「ちいさな芽」の内容を踏まえて、保育課程や教育課程を編成するようにしています。

家庭教育においては、3歳児の入園までの期間や、就学するまでの期間において、「ちいさな芽」で示した、「幼児期に育てたい心情・意欲・態度」「幼児期に育てたい望ましい姿」を参考にして子育てを行うことが考えられます。平成23年4月には、区内の公立・私立の幼稚園・保育園・こども園、子育て支援センター、保健所、児童館、こどもクラブにも「ちいさな芽」の概要をまとめた、「保護者向けのリーフレット」を配布して保護者への理解、啓発活動を行うとともに、関係諸機関においてもカリキュラムの主旨を踏まえた実践を行っています。

イメージ図 「ちいさな芽を活用した保育・教育課程の編成」





2 発達の特徴と育ちの連続性

ちいさな芽	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
生活	<p>「どんどん成長するよ」</p> <p>著しい身体の発達</p>	<p>「歩けるよ」</p> <p>歩行の確立 手・指先の機能の発達</p>	<p>「自分でやりたい！」</p> <p>自立心の芽生え</p>	<p>「できるよ、できたよ」</p> <p>食事・排泄・着脱ほぼ自立 基本的な運動機能の伸長</p>
人との かかわり	<p>「だっこ、大好き」</p> <p>特定の大人とのかかわり スキンシップ</p> 	<p>「せんせい、だいすき」</p> <p>信頼感</p> 	<p>「いやだ、いやだ！」</p> <p>自我が育ち自己主張</p> <p>発声が明瞭になり語彙が増加</p>	<p>「あの子、大好き」</p> <p>友達とのかかわりが増える 好きな友達ができる</p> <p>「ぼくが・・・ わたしが・・・」</p> <p>自我がよりはっきりしてくる 自己主張</p>
学 び	<p>「なにかな？」</p> <p>物への興味</p>	<p>「なんだろう？」</p> <p>「これなあに？」</p> <p>活発な探索活動 人・物への興味</p>	<p>「まねっこ、大好き」</p> <p>大人と一緒にごっこ遊び</p> 	<p>「なぜ？どうして」</p> <p>知的興味・関心の高まり 話し言葉の基礎の完成</p> <p>「ごっこ遊び、大好き」</p> <p>平行遊び</p>

4歳児	5歳児	1年生 1学期	1年生 2学期
<p>「自分のことは自分でできるよ」</p> <p>からだの動きが巧みになる</p> 	<p>「わたしたちは園のリーダー」</p> <p>生活や遊びの見通し 基本的な生活習慣の自立 運動機能の伸長</p> 	<p>「小学校 楽しいね」</p> <p>学校生活や活動の見通しが つく</p>	<p>「見通しをもって生活できるよ」</p> <p>時間の感覚や先の見通しをもつ 体力がつく</p>
<p>「友達と一緒に楽しい」「友達と力を合わせよう」 「〇〇ちゃんが笑うと私もうれしい」</p> <p>友達とのつながりができる 感情が豊かになる がまんができる</p>	<p>仲間意識 協同的遊び 役割分担 自分の気持ちを調整する</p> <p>自己統制</p>	<p>「友達と力を合わせるといろいろなことができるね」</p> <p>新しい友達とのかかわり</p> 	<p>「こうするといいね」</p> <p>よいこと、悪いことの判断ができるようになる</p>
<p>「〇〇ちゃんの気持ちは？」</p> <p>けんかが増える 人の気持ちを察する</p> <p>「こうかな？ いろいろやってみよう」</p> <p>試行錯誤 目的をもった行動 物の特性を知り、かかわり方・遊び方の体得</p>	<p>「最後まで聞くよ」</p> <p>相手の話を最後までよく聞く</p> <p>「チャレンジしよう！」</p> <p>挑戦 創意工夫の積み重ね</p> <p>「なるほど・・・そうか」</p> <p>知的な好奇心・思考力の高まり</p>	<p>「もっと知りたい、やってみよう」</p> <p>学び意欲 学ぶ姿勢</p> 	<p>「分かった」</p> <p>分かった喜びを感じ進んで学習する</p>

